

阿蘇の草原及び火山を題材にした教育旅行プログラムのモニターツアーについて（参加者募集）

この度、阿蘇の草原及び火山を題材とし、環境－社会－経済のつながりを学ぶことを趣旨とした教育旅行プログラムを造成いたしました。つきましては、来年度以降の本格的な受け入れを目指したモニターツアーを開催しますので、参加者を募集したくご案内させていただきます。

記

1. 開催日時

令和3年10月13日（水）～10月15日（金）

<大まかなタイムスケジュール>

月日	時間	行程
10/13（水）	（航空機の目安）	羽田発 14：55⇒熊本着 16：40（JAL633 便） 伊丹発 14：00⇒熊本着 15：15（ANA1627 便）
	17:00 頃	熊本空港集合⇒手配バスで移動（移動時間：約 30 分）
	17:45 頃	阿蘇着（阿蘇市内のホテルに宿泊）
10/14（木）	9:00～17:00	草原プログラム
10/15（金）	9:00～11:00	火山プログラム
	11:00～12:00	意見交換会
	12:00～16:00	昼食⇒手配バスで移動（途中、1箇所程度の見学を含む）
	16:00 頃	熊本空港解散
	（航空機の目安）	熊本発 17：25⇒羽田着 19：00（JAL634 便） 熊本発 17：35⇒伊丹着 18：40（ANA526 便）

2. 募集人数

旅行会社5社程度、高等学校の先生10名程度（旅行会社1社につき、先生2名程度を想定）

3. 費用

以下の費用については、主催者側で負担・手配いたします。

会社・学校から熊本空港までの交通費（実費相当）

モニターツアー期間中の宿泊費（2泊4食付）、昼食代（2、3日目）、プログラム体験料

#### 4. プログラムの概要

##### <草原プログラム> 体験料（予定）：4,500円

日本一の野草地面積を誇り、年間1,000万人を超える観光客を魅了する阿蘇の大草原は、1,000年以上もの間、農畜産業の営みによって維持されてきましたが、農畜産業者の高齢化や後継者不足等により、従来のやり方だけの草原維持が難しくなりつつあります。

本プログラムでは、①地元の方々との牧野（ぼくや）作業体験、②体験を通じた、環境・経済・社会がどのように作用しあっているかの学習、③体験後のグループワークを通じた、各地域に戻った後の地域の課題を考えるきっかけの提供、を主眼とした教育旅行のプログラムです。

##### <火山プログラム> 体験料：1,700円

直径25km、外周100kmを誇る世界有数のカルデラを抱え、活火山も有する阿蘇地域。この過酷な環境に1000年以上も前から人間が住み着き、歴史・文化をつづってきました。カルデラの中に人が住むという世界でも稀有な地域には、火山と共生するための様々な知恵と工夫が隠れています。

阿蘇火山博物館を拠点に、専門知識を有するガイドとともに周辺を散策しながら、火山と共生してきた知恵や工夫を通じて、全世界共通の目標であるSDGsの達成に向けて、ヒントを学び取ろうというプログラムです。

#### 5. お申込み締切

9/3（金）※ただし、先着順とさせていただきます。

#### 6. お申込み、問合せ先

環境省阿蘇くじゅう国立公園管理事務所（担当：山下淳一、藤田幸代）

TEL：0967-34-0254、FAX：0967-34-2082

E-MAIL：[NCO-ASO@env.go.jp](mailto:NCO-ASO@env.go.jp)

以上